

2013年（平成25年）の日本の天候

2013年（平成25年）の日本の天候の特徴：

○ **東日本、西日本、沖縄・奄美は高温・多照、北日本は多雨（雪）・寡照**

春の後半から秋の前半にかけて全国的に高温傾向が続き、東・西日本と沖縄・奄美の年平均気温は高かった。冬から春の前半の低温が明瞭だった北日本では年平均気温は平年並だった。また、東・西日本と沖縄・奄美では、春から秋にかけて高気圧に覆われて晴れる日が多く、東・西日本の年間日照時間はかなり多く、沖縄・奄美は多かった。一方、一年を通じて低気圧や前線の影響を受けやすかった北日本では年間日照時間が少なく、年降水量は多く、特に日本海側でかなり多かった。

○ **北日本、東日本、西日本は寒冬**

北日本を中心に冬型の気圧配置となる日が多く、周期的に強い寒気が南下したことから、北・東日本では2年連続、西日本では3年連続の寒冬となった。北日本日本海側の冬の降雪量は多く、酸ヶ湯（青森県青森市）で積雪の深さが566cmを観測するなど、記録的な積雪となったところがあった。

○ **全国で暑夏、8月には熱波**

太平洋高気圧の勢力が日本の南海上から西日本にかけて強かったことなどから、全国で暑夏となり、西日本では夏の平均気温平年差が+1.2℃と1946年の統計開始以来第1位の高温となった。特に、8月上旬後半から中旬にかけては東・西日本を中心に厳しい暑さに見舞われ、8月12日には、江川崎（高知県四万十市）で日最高気温が41.0℃となり歴代全国1位となった。

○ **各地で記録的な豪雨**

7月から10月にかけては、太平洋高気圧の縁を回る湿った気流と梅雨前線の影響や、台風と秋雨前線の影響を受けて大雨に見舞われたところがあり、特に、島根県、山口県、秋田県、岩手県、京都府、滋賀県、福井県および大島（東京都）では記録的な豪雨を観測した。

1 概況

全国的に、春の前半までは気温の低い時期と高い時期が交互に現れたのち、春の後半から秋の前半にかけては高温傾向が続き、顕著な高温の時期も見られた。秋の後半以降は西日本や沖縄・奄美を中心に低温となった。年平均気温は、東・西日本と沖縄・奄美で高く、冬から春の前半にかけての低温が明瞭だった北日本では平年並だった。春と秋を中心に高気圧に覆われて晴れの日が多かった東・西日本では年間日照時間がかかなり多く、年間日照時間の平年比は東日本太平洋側で112%となり1946年の統計開始以来最も多い記録を上回り、西日本太平洋側では111%となって1994年と並んで1位タイの記録となった。一年を通じて低気圧や前線の影響を受けやすかった北日本では、年間日照時間が少なく、年降水量は多く、特に日本海側ではかなり多かった。また、夏以降、高気圧に覆われて晴れの日が多かった沖縄・奄美では、年間日照時

間が多く、年降水量は少なかった。

冬は、北日本を中心に冬型の気圧配置となる日が多く、周期的に強い寒気が南下したため、北日本から西日本にかけて低温となり、日本海側では冬の降水量が多く、日照時間は少なかった。一方、太平洋側では平年と同様に晴れの日が多かったが、低気圧の通過時にはまとまった雨または雪が降り、冬の降水量は多くなった。冬の降雪量が多かった北日本日本海側の一部では記録的な積雪となり、酸ヶ湯（青森県青森市）で積雪の深さが 566 cm となるなど、アメダスも含めた 12 地点（春以降も含めれば 16 地点）で月最深積雪の大きい記録を更新した。沖縄・奄美では、2 月には顕著な高温の時期があり、暖冬となった。

春は、4 月中旬から 5 月上旬にかけて寒気の影響で全国的に低温となる一方、そのほかの時期は暖かい空気に覆われて、東・西日本を中心に高温となり、気温の変動が大きかった。東・西日本では高気圧に覆われて晴れた日が多かったため、春の降水量は西日本でかなり少なく、日照時間は東・西日本でかなり多くなった。西日本太平洋側の降水量の平年比は 56% と最も少ない記録を、東日本太平洋側、西日本日本海側、西日本太平洋側の日照時間の平年比はそれぞれ 121%、118%、122% と最も多い記録を更新した（いずれも 1946 年の統計開始以来）。一方、北日本日本海側では寒気や気圧の谷の影響で曇りや雨または雪の日が多く、春の日照時間はかなり少なかった。また、北海道では、3 月上旬に発達した低気圧の影響で暴風雪に見舞われた。

夏は、太平洋高気圧の勢力が日本の南海上から西日本にかけて強く、また、北日本まで暖かい空気が流れ込んだため、全国的に高温となり、特に西日本では平均気温の平年差が +1.2℃ と 1946 年の統計開始以来の最も高い記録を更新した。また、江川崎（高知県四万十市）で日最高気温が歴代全国 1 位となる 41.0℃ を記録するなど、アメダスも含めた 125 地点で日最高気温の高い記録を更新した。沖縄・奄美では、太平洋高気圧に覆われて晴れる日が続いたため、顕著な少雨多照の夏となった。また、東日本太平洋側でも夏の降水量はかなり少なかった。一方で、梅雨前線や太平洋高気圧の縁を回る湿った気流の影響で、日本海側ではたびたび大雨に見舞われ、東日本日本海側や東北日本海側の夏の降水量はかなり多かった。特に、7 月 28 日は山口県と島根県で、8 月 9 日は秋田県と岩手県で、8 月 24 日は島根県で記録的な豪雨となった。

秋は、9 月中旬から 11 月上旬にかけて、偏西風が平年より北側を流れた影響で日本付近への寒気の南下が弱かったため、北日本から西日本にかけて気温の高い状態が続いた。11 月中旬以降は、強い寒気が流れ込み、北日本を除いて気温の低い日が多かった。9 月から 10 月にかけては、全国的に台風や秋雨前線の影響でたびたび大雨に見舞われたほか、11 月には低気圧や寒気の影響で日本海側では雨の日が多かった。このため、北・西日本と東日本日本海側の秋の降水量はかなり多く、降水量の平年比は北日本日本海側で 135%、東日本日本海側で 162% と 1946 年の統計開始以来最も多い記録を更新した。また、秋に日本へ接近した台風の数 は 9 個となり、1951 年以降では 1966 年と並んで最も多く、9 月中旬に上陸した台風第 18 号の影響により福井県、滋賀県、京都府で、10 月中旬に接近した台風第 26 号の影響により大島（東京都）で記録的な豪雨となった。一方で、東・西日本と沖縄・奄美では高気圧に覆われて晴れた日も多く、日照時間は多かった。

2 気温、降水量、日照時間の気候統計値

(1) 平均気温

年平均気温は、東・西日本、沖縄・奄美で高かった。北日本は平年並だった。

(2) 降水量

年降水量は、北・東日本日本海側ではかなり多く、北日本太平洋側で多かった。新庄、酒田（以上、山形県）では、年降水量の多い方からの1位を更新した。一方、沖縄・奄美では少なかった。東日本太平洋側、西日本は平年並だった。

(3) 日照時間

年間日照時間は、東・西日本ではかなり多く、沖縄・奄美で多かった。熊谷（埼玉県）、甲府（山梨県）、大阪など13地点では、年間日照時間の多い方からの1位を更新した。一方、北日本では少なかった。

地域平均平年差（比）と階級（2013年）

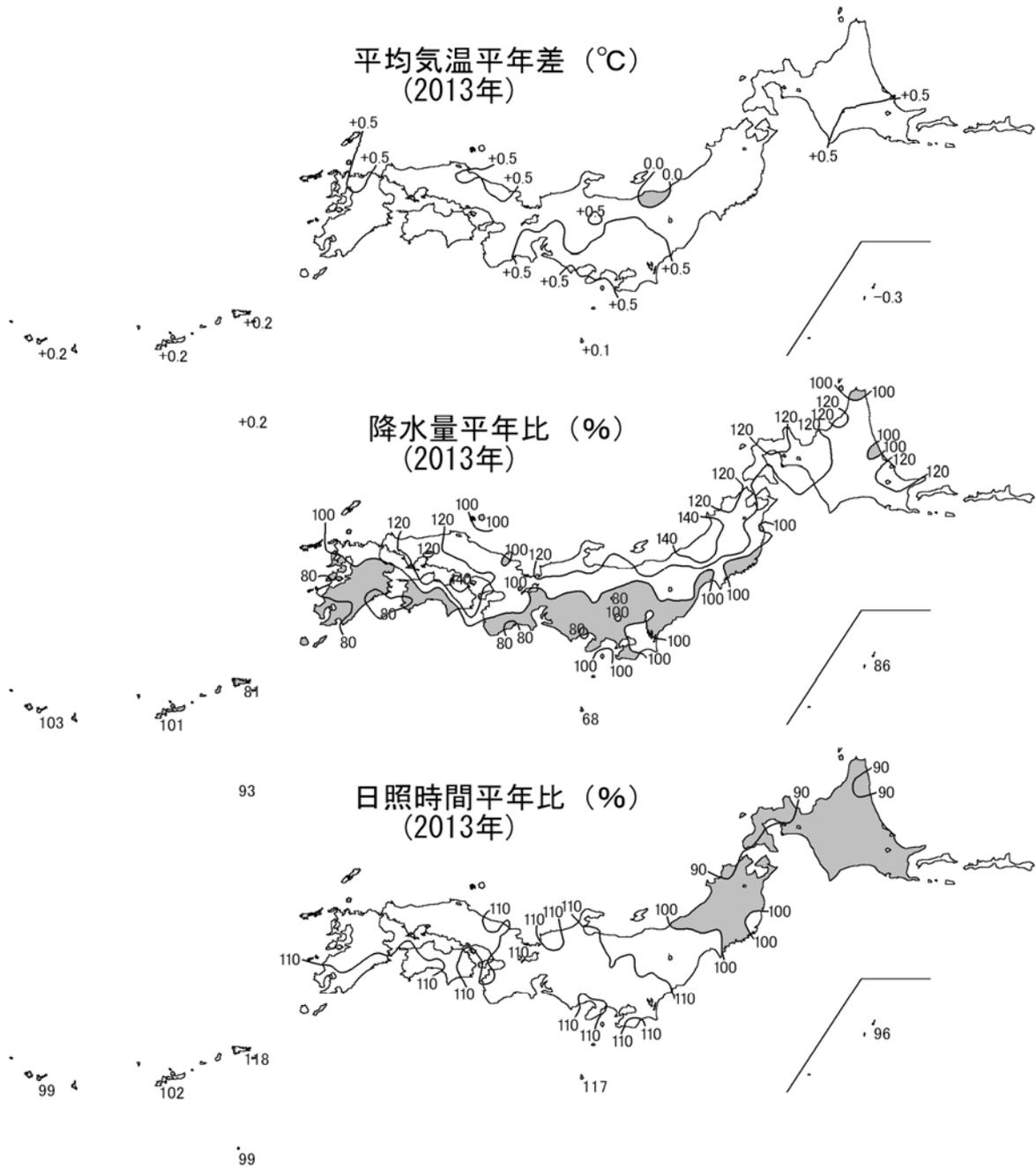
	気温 平年差 ℃(階級)	降水量 平年比 %(階級)	日照時間 平年比 %(階級)		気温 平年差 ℃(階級)	降水量 平年比 %(階級)	日照時間 平年比 %(階級)		
北日本	0.3 (○)	115 (+)*	96 (-)	北海道	0.4 (+)	117 (+)*	93 (-)		
		日 122 (+)*	日 93 (-)			日 119 (+)*	日 91 (-)		
		太 108 (+)	太 98 (-)			オ 111 (+)	オ 93 (-)		
東日本	0.5 (+)	101 (○)	111 (+)*	東北	0.2 (○)	112 (+)	100 (○)		
		日 128 (+)*	日 108 (+)*			日 128 (+)*	日 97 (○)		
		太 94 (○)	太 112 (+)*			太 100 (○)	太 101 (○)		
西日本	0.4 (+)	101 (○)	110 (+)*	関東甲信	0.6 (+)	97 (○)	112 (+)*		
		日 102 (○)	日 108 (+)*			北陸	0.2 (○)	128 (+)*	108 (+)*
		太 100 (○)	太 111 (+)*					東海	0.5 (+)
中国	0.4 (+)	114 (+)	108 (+)	近畿	0.3 (+)			106 (+)	112 (+)*
		陰 109 (+)	陰 107 (+)			日 103 (○)	日 113 (+)*		
		陽 120 (+)	陽 109 (+)*			太 107 (+)	太 111 (+)*		
四国	0.3 (+)	107 (○)	110 (+)*						
九州北部	0.4 (+)	100 (○)	107 (+)*						
九州南部 ・奄美	0.3 (+)	77 (-)*	112 (+)*	九州南部 ・奄美	0.4 (+)	本 77 (-)*	本 112 (+)*		
		本 0.4 (+)	本 112 (+)*			奄 0.2 (○)	奄 79 (-)	奄 113 (+)*	
沖縄・奄美	0.2 (+)	88 (-)	105 (+)	沖縄	0.2 (+)	91 (-)	102 (○)		

階級表示 - :低い(少ない) ○:平年並 + :高い(多い) 地域表示 日:日本海側 陰:山陰 本:本土(九州南部)
*はかなり低い(少ない) かなり高い(多い)を表す オ:オホーツク海側 陽:山陽 奄:奄美
太:太平洋側

(注)・基礎となるデータは全国の气象台等での観測値で、観測所数は154地点である。このうち、降雪の深さ、最深積雪については、観測を行っている106地点が対象である。

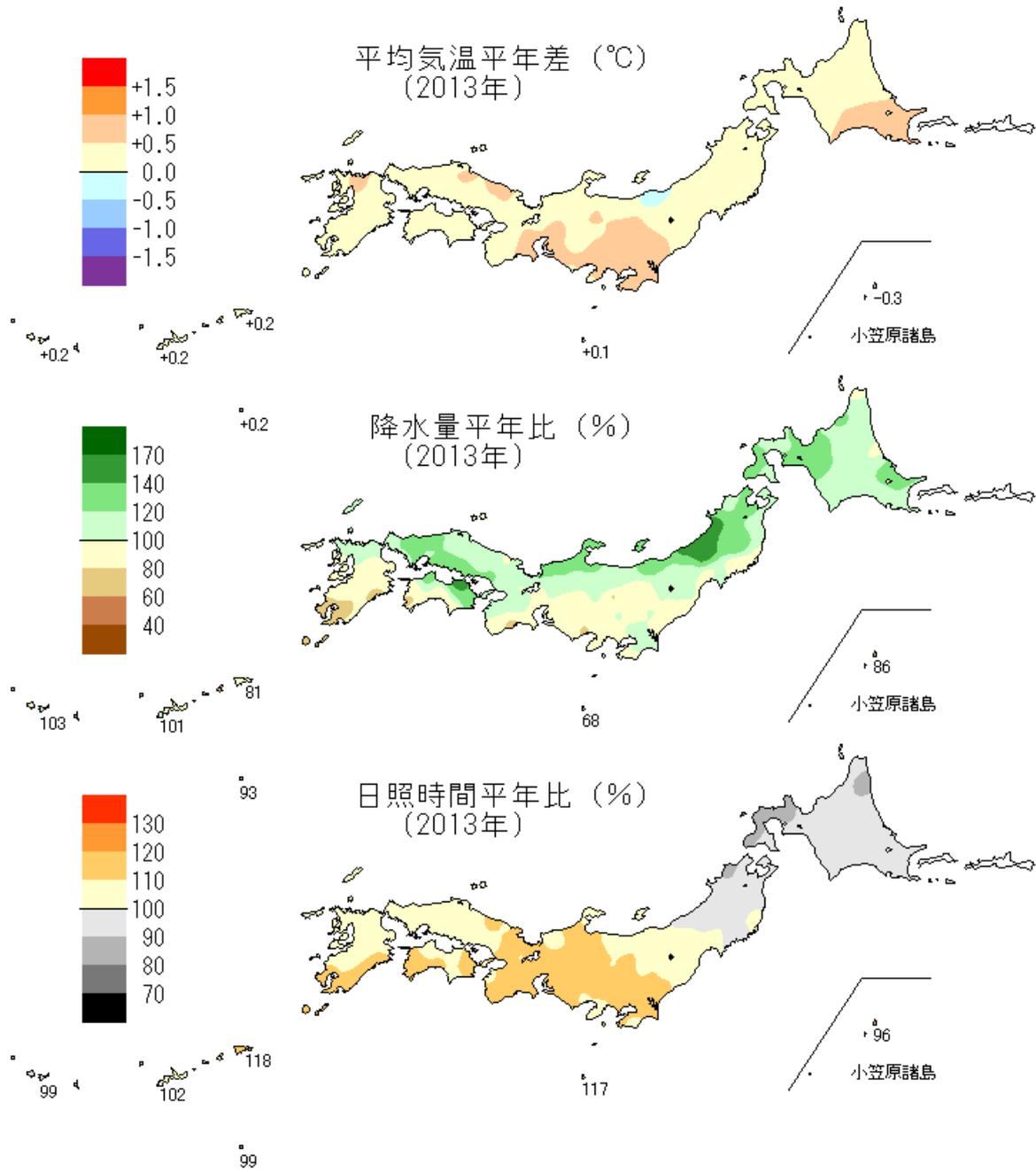
・「低い(少ない)」「平年並」「高い(多い)」の階級は、1981~2010年における30年間の観測値をもとに、これらが等しい割合で各階級に振り分けられる(各階級が10個ずつになる)ように決めている。また、値が1981~2010年の観測値の下位または上位10%に相当する場合には、「かなり低い(少ない)」「かなり高い(多い)」と表現する。

平年差（比）図（2013年）（等値線図）



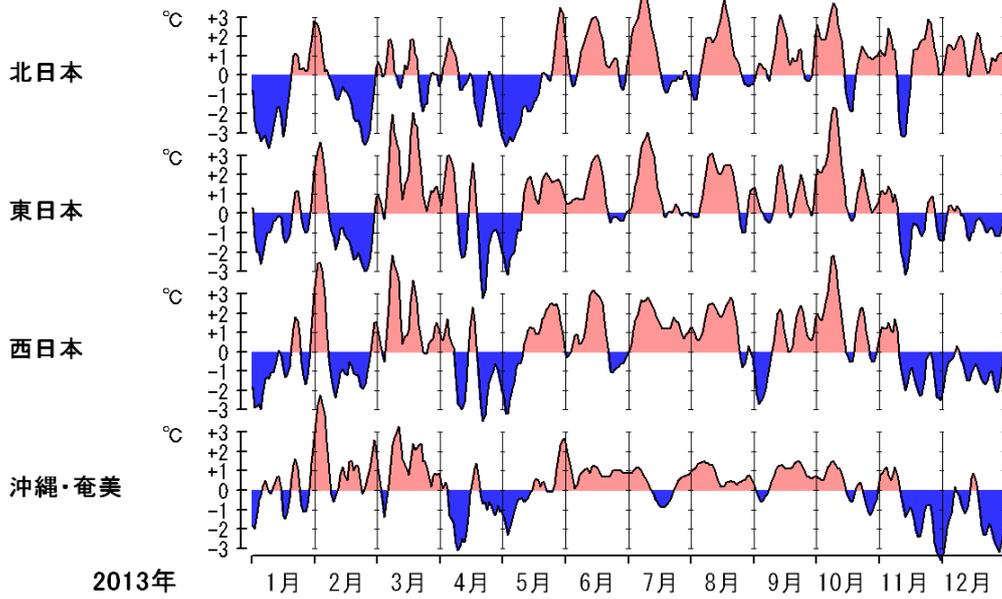
注) 陰影の部分は、平年値より低い（少ない）地域を示す。

平年差（比）図（2013年）

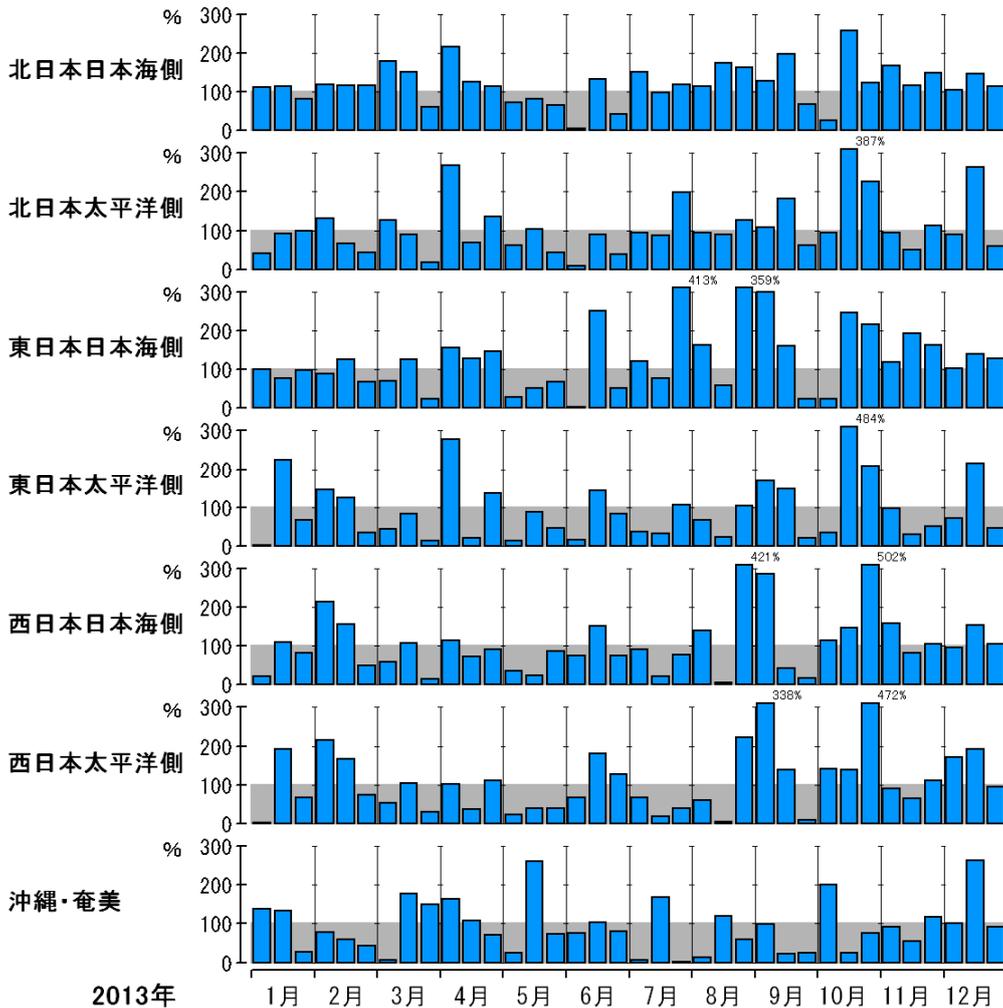


地域平均平年差（比）の経過（2013年）

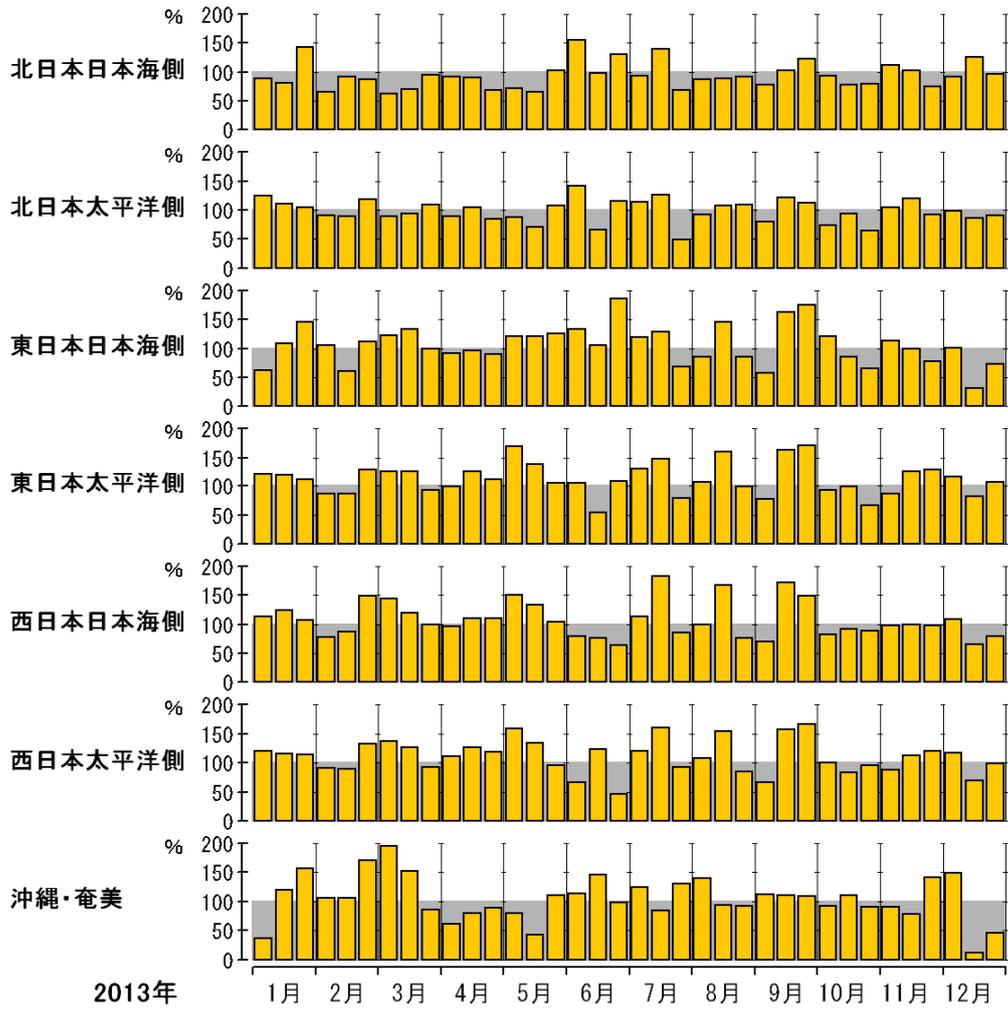
平均気温平年差（5日移動平均）



降水量平年比（旬別）



日照時間平年比(旬別)



観測史上1位の値（月、3か月、年別値）の更新地点数

- ・全国154地点の気象台等の統計値の中で、観測史上1位となった地点数を記載した。
- ・値は1位を更新した地点数でタイ記録は含めない、タイ記録がある場合には「値タイ」として横に併記した。
- ・地域は更新およびタイ記録の地点数の合計が5以上のとき記載した。

	平均気温		降水量		日照時間		降雪の深さ	最深積雪
	最高	最低	最大	最小	最大	最小	最大	最大
1月	0	0	0	0	2	0	1タイ	0
2月	0	0	1	0	0	1	1、1タイ	0
冬	0	0	0	0	0	0	3	
3月	26、9タイ 東・西日本	0	2	8、1タイ 北～西日本	1	2	1	0
4月	0	0	2	0	0	1	0	0
5月	0	0	0	16 北～西日本	23 東・西日本	2		
春	2、1タイ	0	0	10 西日本	36 北～西日本	5 北日本		
6月	2、1タイ	0	1	5 北日本	0	0		
7月	9、1タイ 西日本	0	6 北・東日本	11、1タイ 東・西日本、 沖縄・奄美	1	0		
8月	16、10タイ 東・西日本、 沖縄・奄美	0	1	3	0	0		
夏	26、13タイ 東・西日本、 沖縄・奄美	0	1	8 東・西日本、 沖縄・奄美	0	0		
9月	0	0	0	1	8 東・西日本	0		
10月	16、14タイ 北～西日本	0	3	0	0	1		
11月	0	0	2	0	0	0	0	0
秋	0	0	3	0	0	0		
12月	0	0	0	0	0	0	0	0
年 (2013年)	0	0	2	0	13 東・西日本	0		

3 季節別の天候経過

冬（2012年12月～2013年2月）：

- 北日本から西日本にかけて気温が低かった
- 北日本から西日本にかけて降水量が多かった
- 北日本日本海側では所々で記録的な積雪

北日本を中心に冬型の気圧配置となる日が多かった。周期的に強い寒気が南下した影響で、北日本から西日本にかけて、冬の平均気温は低く、日本海側を中心に降水量が多く日照時間が少なかった。一方、太平洋側では平年と同様に晴れの日が多かったが、低気圧の通過時にはまとまった雨または雪の降る日があったため、冬の降水量は多くなり、大雪となった日もあった。

日本海側の降雪量は北日本で多かったが、西日本では少なかった。東日本では平年並だった。北・東日本では3か月連続で月平均気温が低く、低温の状態が続き積雪の減少する時期が少なかった。また、たびたび強い寒気の影響を受けたため、北日本から新潟県の山沿いにかけて降雪量が多くなった。酸ヶ湯（青森県青森市）で積雪の深さが566cmとなるなど、全国の積雪を観測している330地点（アメダスと气象台等）のうち、12地点（春以降も含めれば16地点）で月最深積雪の大きい方からの1位の値を更新し、記録的な積雪となった。

沖縄・奄美では天気は数日の周期で変化し、寒気の影響を受けることが少なく、2月はじめには顕著な高温となったこともあり、冬の平均気温は高かった。

平均気温は、北日本から西日本にかけて低く、北日本では平年を1℃以上下回った。一方、沖縄・奄美では高かった。降水量は、北日本日本海側ではかなり多く、北日本太平洋側、東日本日本海側、西日本で多かった。東日本太平洋側、沖縄・奄美は平年並だった。日照時間は、北日本日本海側で少なかった。一方、東日本太平洋側では多かった。北日本太平洋側、東日本日本海側、西日本、沖縄・奄美は平年並だった。

春（3～5月）：

- 全国的に気温の変動が大きかった
- 西日本太平洋側で降水量が記録的に少なく、東日本太平洋側と西日本で日照時間が記録的に多かった
- 北日本日本海側で日照時間がかなり少なかった

3月は、北日本では北海道を中心に、月のはじめに発達した低気圧の影響により暴風雪となったほか、その後も日本海側を中心に低気圧や冬型の気圧配置の影響により曇りや雪または雨の日が多かった。東・西日本と沖縄・奄美では周期的に天気は変わったものの、高気圧に覆われて晴れた日が多く、また南からの暖かい空気に覆われて気温が平年を上回る日が多かった。

4月は、上旬に、発達した低気圧の影響により北日本から西日本の広い範囲で大雨や暴風となった。その後も北日本では低気圧の影響を受けやすかった。東・西日本では高気圧に覆われて晴れた日が多かった一方、沖縄・奄美では前線や湿った気流の影響により曇りや雨の日が多かった。強い寒気が10日前後と下旬に日本付近に流れ込んだため、気温は全国的に平年を下回る日が多かった。

5月は、上旬に、この時期としては強い寒気に覆われて全国的に気温は平年を大幅に下回った。その後は、北海道では気圧の谷や湿った気流の影響、沖縄・奄美では前線などの影響により曇りや雨の日が多かったが、東北地方と東・西日本では高気圧に覆われて晴れて気温の高い日が多かった。月の終わりには、北日本から西日本にかけて南からの湿った気流を受けやすく曇りや雨となった。

以上のとおり、気温は3月から4月はじめにかけてと5月中旬以降は東・西日本を中心に高温となった一方、4月中旬から5月上旬にかけては全国的に低温となるなど、全国的に気温の変動が大きかった。

東・西日本では高気圧に覆われて晴れた日が多かったため、西日本では春の降水量がかなり少なく、東・西日本では日照時間がかなり多くなった。西日本太平洋側の春の降水量の平年比は56%で1946年の統計開始以来最も少ない記録を更新した。また春の日照時間の平年比は、東日本太平洋側で121%、西日本日本海側で118%、西日本太平洋側で122%と、いずれも1946年の統計開始以来最も多い記録を更新した。一方、北日本日本海側では、寒気や湿った気流の影響により曇りや雨または雪の日が多かったため、春の日照時間はかなり少なかった。

平均気温は、東・西日本で高かった。一方、北日本では低かった。沖縄・奄美は平年並だった。降水量は、西日本ではかなり少なく、東日本で少なかった。一方、北日本日本海側、沖縄・奄美では多かった。北日本太平洋側は平年並だった。日照時間は、東・西日本でかなり多かった。一方、北日本日本海側ではかなり少なく、北日本太平洋側で少なかった。沖縄・奄美は平年並だった。

夏(6~8月) :

○全国的に高温で、東・西日本、沖縄・奄美ではかなり高かった

○東日本太平洋側、沖縄・奄美で降水量がかなり少なく、東日本日本海側と東北日本海側ではかなり多かった。

○7月には山口県や島根県で、8月には秋田県や岩手県、島根県で記録的な豪雨

日本の南海上から西日本にかけて太平洋高気圧の勢力が強かったため、東日本以西は盛夏期に太平洋高気圧に覆われることが多く、北日本でも暖かい空気が流れ込みやすかったことから、全国的に高温となった。暖かい高気圧に覆われた6月中旬、太平洋高気圧が強まった7月前半と8月上旬後半から中旬は、北日本から西日本にかけて気温が平年よりかなり高くなり、東・西日本と沖縄・奄美では夏の平均気温がかなり高くなった。特に西日本では、夏の平均気温平年差は+1.2℃と1946年の統計開始以来最も高かった。また、全国の気象台等のうち26地点で夏の平均気温の高い方からの1位を更新した。なお、全国の気温を観測している927地点(アメダスと気象台等)のうち125地点(タイ記録も含めると143地点)で日最高気温の記録を更新し、8月12日には、江川崎(高知県四万十市)で日最高気温が41.0℃となり歴代全国1位となった。

沖縄・奄美では、太平洋高気圧に覆われて晴れる日が続いたため、夏の日照時間はかなり多く、降水量がかなり少なくなった。先島諸島では台風の影響で大雨となる日もあったが、1か月以上ほとんど雨が降らないところもあり、農作物の被害や取水制限が実施されるなどの影響があった。7月の月降水量は名瀬(鹿児島県)で0.0ミリ、那覇(沖縄県)で4.5ミリと、7月としては統計開始以来最も少なくなった。また、東日本太平洋側でも夏の降水量がかなり少なくなったため、利根川などでは取水制限が実施された。

一方で、日本の南海上から西日本に張り出した太平洋高気圧の縁を回って湿った気流が日本海から入りやすく、日本海側では大雨となる日があり、夏の降水量は、東日本日本海側や東北日本海側でかなり多かった。7月は東北地方に梅雨前線が停滞することが多く、東北地方では雨の日が続き、7月の月降水量の平年比は182%と1946年の統計開始以来7月としては最も多い記録を更新した。また、7月28日は山口県や島根県で、8月9日は秋田県や岩手県で、8月24日は島根県で記録的な豪雨となり、河川の増水や土砂災害が発生した。そのほかの地方でも、大気の状態が不安定となり、局地的に非常に激しい雨となる日があり、特に7月下旬から8月

上旬に多かった。

平均気温は、東・西日本、沖縄・奄美ではかなり高く、北日本で高かった。沖縄・奄美を除いて平年を 1℃以上上回った。降水量は、東日本日本海側ではかなり多く、北日本日本海側で多かった。一方、東日本太平洋側、沖縄・奄美ではかなり少なかった。北日本太平洋側、西日本は平年並だった。日照時間は、沖縄・奄美ではかなり多く、北日本日本海側、東日本、西日本太平洋側で多かった。北日本太平洋側、西日本日本海側は平年並だった。

秋（9～11月）：

○北日本から西日本にかけて降水量が多かった

○北・東日本で気温が高かった

○東・西日本、沖縄・奄美で日照時間が多かった

9月から11月上旬にかけては、日本の東海上の高気圧の勢力が平年より強く、また、日本付近の偏西風が平年に比べ北寄りを流れ、寒気の南下が弱かったため、北日本から西日本にかけて気温が高く、特に10月上旬は記録的な高温となった。一方、11月中旬以降は、強い寒気が日本付近に流れ込んだため、東・西日本と沖縄・奄美では気温が平年を下回る日が多くなった。

降水量は、9月から10月にかけては、秋の台風の日本への接近数が9個と1951年以降では1966年と並んで最も多くなったことと秋雨前線の影響で、北日本から西日本の広い範囲で平年を上回った。11月に入ってから、低気圧や冬型の気圧配置の影響で、日本海側で降水量が多く、北・東日本日本海側ではかなり多くなった。このため、秋の降水量は北・西日本と東日本日本海側でかなり多く、東日本太平洋側で多かった。特に、北日本日本海側では平年比135%、東日本日本海側では平年比162%となり、それぞれ1946年の統計開始以来最も多い記録を更新した。また、9月中旬に上陸した台風第18号の影響により福井県、滋賀県、京都府で、10月中旬に接近した台風第26号の影響により大島（東京都）で記録的な豪雨となった。

日照時間は、9月中旬から下旬にかけて高気圧に覆われることが多かったことや、11月中旬以降は冬型の気圧配置の日が多かったため、東・西日本と沖縄・奄美で多く、特に東日本太平洋側ではかなり多かった。

平均気温は、北・東日本で高かった。西日本、沖縄・奄美は平年並だった。降水量は、北日本、東日本日本海側、西日本ではかなり多く、東日本太平洋側で多かった。一方、沖縄・奄美では少なかった。日照時間は、東日本太平洋側ではかなり多く、東日本日本海側、西日本、沖縄・奄美で多かった。一方、北日本では少なかった。

4 全国気候表 2013 年

地点名	平均気温(平年差)			降水量(平年比)			降水日数 ≥1mm	日照時間(平年比)		
	(°C)	(°C)	階級	(mm)	(%)	階級		(h)	(%)	階級
札幌	9.2	(+0.3)	○	1347.0	(122)	+*	161	1647.9	(95)	—
稚内	7.3	(+0.5)	+	1045.5	(98)	○	157	1384.1	(93)	—
北見枝幸	6.3	(+0.3)	○	1333.0	(116)	+	167	1366.6	(88)	—*
旭川	7.2	(+0.3)	○	1185.5	(114)	+	176	1502.9	(94)	—
留萌	8.0	(+0.3)	○	1347.0	(120)	+*	179	1396.3	(91)	—
羽幌	8.1	(+0.4)	+	1545.5	(121)	+	187	1436.7	(91)	—*
岩見沢	7.9	(+0.3)	○	1473.0	(127)	+*	171	1583.0	(92)	—
倶知安	7.2	(+0.2)	○	1754.5	(119)	+*	199	1285.3	(88)	—*
小樽	8.8	(+0.2)	○	1543.5	(125)	+*	183	1466.5	(90)	—
小寿都	8.8	(+0.2)	○	1382.5	(117)	+	178	1219.6	(86)	—*
網走	7.0	(+0.5)	+	973.0	(124)	+*	132	1802.1	(96)	—
紋別	6.8	(+0.4)	+	800.0	(99)	○	108	1649.4	(96)	—
雄武	6.1	(+0.4)	+	921.0	(106)	○	130	1530.5	(92)	—
釧路	7.1	(+0.9)	+*	1229.5	(118)	+	100	1887.0	(96)	—
根室	6.8	(+0.5)	+	1183.0	(116)	+	108	1727.6	(94)	—
帯広	7.3	(+0.5)	+	933.5	(105)	○	100	1944.6	(96)	—
広尾	7.4	(+0.6)	+	1900.5	(112)	+	124	1741.1	(96)	—
室蘭	8.9	(+0.3)	○	1482.0	(125)	+*	153	1622.6	(94)	—
苫小牧	8.0	(+0.4)	+	1590.0	(133)	+*	132	1562.9	(92)	—*
浦河	8.2	(+0.3)	○	1237.0	(115)	+	116	1788.6	(98)	○
函館	9.4	(+0.3)	○	1323.0	(115)	+	151	1613.4	(92)	—
江差	10.4	(+0.3)	○	1520.0	(127)	+*	163	1286.8	(89)	—*
青森	10.5	(+0.1)	○	1664.0	(128)	+*	164	1515.5	(95)	—
深浦	10.7	(0.0)	○	1636.5	(112)	+	166	1276.3	(88)	—*
むつ	9.7	(+0.2)	○	1351.0	(101)	○	148	1491.3	(93)	—
八戸	10.3	(+0.1)	○	1023.5	(100)	○	104	1807.5	(97)	—
秋田	11.9	(+0.2)	○	2373.0	(141)	+*	187	1469.4	(96)	○
盛岡	10.6	(+0.4)	○	1643.0	(130)	+*	133	1670.7	(99)	○
大船渡	11.3	(0.0)	○	1284.5	(83)	—	104	1685.4	(97)	—
宮古	10.6	(0.0)	○	1315.0	(99)	○	93	1919.5	(102)	○
仙台	12.7	(+0.3)	○	1111.5	(89)	—	99	1879.5	(105)	+
石巻	11.6	(0.0)	○	1145.0	(107)	+	95	1937.5	(100)	○
山形	11.9	(+0.2)	○	1347.0	(116)	+	143	1696.0	(105)	+
新庄	10.8	(+0.1)	○	2751.0	(148)	+*	209	1286.6	(97)	○
酒田	12.9	(+0.2)	○	2727.0	(144)	+*	200	1444.6	(93)	—
福島	13.4	(+0.4)	+	1202.0	(103)	○	97	1844.3	(106)	+
若松	11.8	(+0.1)	○	1314.0	(108)	+	142	1728.9	(107)	+*
白河	12.0	(+0.5)	+	1404.0	(100)	○	111	1905.6	(107)	+
小名浜	13.7	(+0.3)	○	1302.0	(92)	—	102	2177.9	(107)	+
水戸	14.3	(+0.7)	+	1338.0	(99)	○	103	2259.0	(118)	+*
館野(つくば)	14.5	(+0.7)	+	1282.0	(100)	○	90	2224.8	(116)	+*
宇都宮	14.4	(+0.6)	+	1504.5	(101)	○	108	2127.9	(111)	+*
日光	7.4	(+0.5)	+	1916.5	(88)	—	130	1904.2	(108)	+
前橋	15.2	(+0.6)	+	998.5	(80)	—	92	2366.4	(112)	+*

地名	平均気温(平年差) 階級			降水量(平年比)階級			降水日数 ≥1mm	日照時間(平年比) 階級			
	(°C)	(°C)		(mm)	(%)			(h)	(%)		
熊谷	15.6	(+0.6)	+	1251.0	(97)	○	92	2336.2	(114)	++	
	秩父	13.8	(+0.7)	+	1370.5	(103)	○	85	2185.1	(115)	++
東京	大島	17.1	(+0.8)	++	1614.0	(106)	○	93	2131.1	(113)	++
	三宅島	16.5	(+0.4)	+	3365.5	(119)	+	116	2004.0	(111)	++
	八丈島	17.8	(+0.1)	○	2459.0	(83)	-	131	1884.0	(110)	++
	父島	17.9	(+0.1)	○	2191.0	(68)	-*	136	1630.1	(117)	++
		22.9	(-0.3)	-	1110.5	(86)	-	101	1952.5	(96)	-
千葉	銚子	16.6	(+0.9)	+	1446.5	(104)	○	92	2135.3	(112)	++
	館山	16.0	(+0.6)	+	1673.5	(101)	○	110	2243.4	(114)	++
	勝浦	16.4	(+0.5)	+	1712.5	(96)	○	102	2174.0	(112)	++
		16.2	(+0.5)	+	1929.0	(98)	○	109	2020.6	(105)	○
横浜	16.6	(+0.8)	++	1516.5	(90)	-	95	2256.7	(115)	++	
長野	松本	12.3	(+0.4)	+	1137.5	(122)	++	107	2129.8	(110)	++
	諏訪	12.4	(+0.6)	+	1045.5	(101)	○	83	2346.0	(112)	++
	軽井沢	11.4	(+0.3)	○	1304.0	(102)	○	92	2357.2	(111)	++
	飯田	8.8	(+0.6)	+	964.5	(78)	-	94	2129.9	(110)	+
		13.1	(+0.3)	○	1409.5	(87)	-	99	2240.9	(111)	++
甲府	河口湖	15.4	(+0.7)	+	939.0	(83)	-	67	2461.5	(113)	++
		11.3	(+0.7)	+	1449.0	(92)	○	92	2191.3	(112)	++
静岡	浜松	17.2	(+0.7)	+	1822.0	(78)	-	88	2297.6	(109)	++
	御前崎	16.9	(+0.6)	+	1668.5	(92)	○	85	2460.6	(111)	++
	三島	16.8	(+0.4)	+	1794.0	(87)	-	91	2496.9	(112)	++
	石廊崎	16.6	(+0.7)	+	1477.5	(79)	-	94	2114.3	(108)	+
	網代	17.0	(+0.4)	+	1463.0	(82)	-	96	2245.0	(106)	+
		16.5	(+0.5)	+	1602.5	(81)	-	102	1974.6	(110)	++
名古屋	伊良湖	16.4	(+0.6)	+	1463.5	(95)	○	88	2355.3	(113)	++
		16.6	(+0.6)	+	1379.0	(86)	-	76	2474.1	(112)	++
岐阜	阜山	16.3	(+0.5)	+	1875.5	(103)	○	102	2315.6	(111)	++
		11.4	(+0.4)	+	1712.0	(101)	○	135	1798.6	(111)	++
津	上野	16.5	(+0.6)	+	1393.5	(88)	-	86	2365.5	(115)	++
	尾鷲	14.8	(+0.6)	+	1481.0	(109)	+	90	2025.2	(115)	++
	四日市	16.6	(+0.5)	+	3017.0	(78)	-	103	2244.7	(115)	++
		15.3	(+0.5)	+	1584.5	(92)	○	92	2175.0	(111)	++
新相	湊川	13.8	(-0.1)	○	2327.0	(128)	++	172	1661.6	(101)	○
		14.0	(+0.1)	○	2102.5	(140)	++	162	1629.7]	()	
高田	13.8	(+0.2)	○	3079.5	(112)	+	198	1704.3	(107)	+	
富山	伏木	14.5	(+0.4)	○	2862.5	(124)	++	179	1785.9	(111)	++
		14.2	(+0.3)	+	2844.0	(128)	++	179	1768.6	(110)	++
金輪	沢島	15.0	(+0.4)	+	3318.0	(138)	++	181	1868.3	(111)	++
		13.7	(+0.2)	○	2907.5	(138)	++	187	1646.7	(105)	+

地点名	平均気温(平年差) 階級			降水量(平年比)階級			降水日数 ≥1mm	日照時間(平年比) 階級			
	(°C)	(°C)		(mm)	(%)			(h)	(%)		
福井	14.9	(+0.4)	+	2725.5	(122)	+*	172	1739.9	(107)	+	
	敦賀	15.6	(+0.3)	○	2611.0	(122)	+*	164	1726.7	(111)	+*
彦根	15.1	(+0.4)	+	1492.0	(95)	○	126	2073.4	(114)	+*	
京都	16.2	(+0.3)	+	1450.5	(97)	○	91	1939.8	(109)	+*	
	舞鶴	14.8	(+0.3)	○	2093.0	(115)	+	136	1784.9	(116)	+*
大阪	17.1	(+0.2)	○	1418.0	(111)	+	88	2299.5	(115)	+*	
神戸	17.0	(+0.3)	○	1297.5	(107)	○	87	2255.4	(113)	+*	
	豊岡	14.9	(+0.6)	+	1996.5	(98)	○	146	1633.9	(110)	+
	姫路	15.5	(+0.3)	○	1465.5	(122)	+	85	2196.2	(108)	+
	洲本	15.6	(+0.1)	○	1650.0	(117)	+	92	2268.9	(110)	+*
奈良	15.3	(+0.4)	+	1505.5	(114)	+	94	2004.2	(110)	+*	
和歌山	17.0	(+0.3)	+	1369.5	(104)	○	88	2281.9	(109)	+*	
	潮岬	17.5	(+0.3)	+	2112.5	(84)	-	105	2515.8	(114)	+*
岡山	16.4	(+0.2)	○	1341.0	(121)	+	81	2214.3	(109)	+*	
	津山	14.0	(+0.3)	○	1608.0	(114)	+	103	1930.3	(109)	+*
広島	16.6	(+0.3)	+	1820.5	(118)	+	83	2248.8	(110)	+*	
	呉	16.5	(+0.3)	○	1705.0	(123)	+	84	2254.0	(110)	+*
	福山	15.7	(+0.3)	○	1373.5	(123)	+	84	2247.8	(107)	+
松江	15.4	(+0.5)	+	2035.0	(114)	+	133	1842.6	(109)	+*	
	西郷	14.7	(+0.4)	+	1763.0	(98)	○	133	1817.7	(104)	+
	浜田	16.0	(+0.5)	+	2134.5	(128)	+	121	1793.8	(103)	○
鳥取	15.5	(+0.6)	+	2048.0	(107)	+	137	1842.0	(111)	+*	
	米子	15.6	(+0.6)	+	1971.5	(111)	+	138	1882.8	(109)	+
	境	15.5	(+0.4)	+	1768.5	(93)	○	143	1790.5	(104)	+
徳島	16.8	(+0.2)	+	1949.0	(134)	+	91	2326.8	(111)	+*	
高松	16.8	(+0.5)	+	1537.0	(142)	+*	90	2288.1	(111)	+*	
	多度津	16.6	(+0.4)	+	1563.0	(146)	+*	90	2254.9	(107)	+
松山	16.8	(+0.3)	+	1622.5	(123)	+*	94	2207.5	(109)	+*	
	宇和島	17.2	(+0.4)	+	1364.0	(83)	-	102	2157.4	(111)	+*
高知	17.3	(+0.3)	+	2327.0	(91)	○	96	2372.9	(110)	+*	
	宿毛	17.2	(+0.3)	+	1511.5	(77)	-	91	2347.3	(112)	+*
	清水	18.3	(+0.1)	○	2141.0	(86)	-	92	2442.5	(111)	+*
	室戸岬	16.9	(+0.2)	○	1944.0	(84)	-	92	2362.1	(109)	+*
山口	15.8	(+0.4)	+	2267.0	(120)	+	107	2040.7	(108)	+	
	下関	17.2	(+0.5)	+	1736.0	(103)	○	97	2019.6	(107)	+
	萩	16.1	(+0.5)	+	1997.0	(120)	+	114	1835.8	(105)	+
福岡	17.7	(+0.7)	+	1801.5	(112)	+	106	2058.5	(110)	+*	
	塚	16.1	(+0.4)	+	2002.5	(113)	+	116	1764.5]	()	

(統計月数:10)

地名	平均気温(平年差)		階級	降水量(平年比)		階級	降水日数 ≥1mm	日照時間(平年比)		階級
	(°C)	(°C)		(mm)	(%)			(h)	(%)	
大分	16.9	(+0.5)	+	1505.5	(92)	○	82	2185.9	(109)	+*
日田	15.8	(+0.4)	+	1682.0	(93)	-	101	1906.4	(106)	+
長崎	17.5	(+0.3)	+	1683.5	(91)	○	97	2018.1	(108)	+*
厳原	16.3	(+0.5)	+	2238.0	(100)	○	95	2033.5	(109)	+*
平戸	16.5	(+0.4)	+	2164.0	(103)	○	101	1885.1	(106)	+
佐世保	17.4	(+0.4)	+	2021.5	(104)	○	103	2042.4	(107)	+
雲仙	12.9	(+0.1)	○	2664.0	(92)	○	120	1517.3	(105)	+
福江	17.1]	()		1953.0	(84)	-	111	1832.6]	()	
	(統計月数:11)						(統計月数:11)			
佐賀	17.1	(+0.6)	+	2012.0	(108)	+	96	2113.1	(107)	+*
熊本	17.2	(+0.3)	○	1975.0	(99)	○	96	2196.9	(110)	+*
阿蘇山	10.2	(+0.3)	+	3015.5	(94)	○	130	1662.3	(107)	+*
人吉	15.8	(+0.3)	○	2104.0	(88)	-	107	1906.5	(104)	+
牛深	18.4	(+0.4)	+	1538.5	(78)	-	104	2127.8	(109)	+*
宮崎	17.9	(+0.5)	+	2079.5	(83)	-	97	2410.5	(114)	+*
延岡	17.0	(+0.4)	+	1776.5	(78)	-	95	2381.8	(112)	+*
都城	16.9	(+0.4)	+	1790.0	(72)	-*	103	2152.6	(111)	+*
油津	18.5	(+0.3)	+	2173.5	(84)	-	109	2165.4	(111)	+*
鹿児島	18.9	(+0.3)	+	1777.5	(78)	-	109	2182.9	(113)	+*
阿久根	17.7	(+0.5)	+	1676.5	(81)	-	105	2124.8	(109)	+*
枕崎	18.3	(+0.2)	○	1705.0	(78)	-	104	2150.7	(112)	+*
屋久島	19.7	(+0.3)	○	3126.0	(70)	-*	143	1754.6	(115)	+*
種子島	19.9	(+0.3)	+	1590.5	(68)	-*	113	2077.5	(115)	+*
名瀬	21.8	(+0.2)	+	2302.5	(81)	-	130	1598.2	(118)	+*
沖永良部	22.5	(+0.1)	○	1414.0	(77)	-	104	2003.1	(107)	+*
那覇	23.3	(+0.2)	○	2071.0	(101)	○	122	1809.0	(102)	○
名護	22.8	(+0.2)	○	1694.0	(84)	-	123	1841.0	(104)	+
久米島	23.3	(+0.4)	+	1799.5	(85)	-	124	1822.4	(104)	+
宮古島	23.8	(+0.2)	+	1593.5	(79)	-*	124	1798.8	(102)	○
石垣島	24.5	(+0.2)	○	2161.0	(103)	○	117	1831.1	(99)	○
西表島	23.8	(+0.1)	○	2294.0	(100)	○	134	1688.9	(97)	○
与那国島	23.9	(+0.1)	○	2054.5	(87)	○	155	1532.7]	()	
	(統計月数:11)						(統計月数:11)			
南大東島	23.5	(+0.2)	+	1481.0	(93)	○	96	2112.6	(99)	○

- (注) 1. 平年値は1981～2010年の資料から求めた。
2. 「階級」の記号の意味は以下のとおり。
+ : 高い (多い) ○ : 平年並 - : 低い (少ない)
各階級の区分値は、1981～2010年における30年間の観測値をもとに、これらが等しい割合で各階級に振り分けられる (各階級が10個ずつになる) ように決めた。
また、値が1981～2010年の観測値の上位または下位10%に相当する場合には階級の「+」に*を付加した。この場合には
かなり高い (多い) かなり低い (少ない)
と表現できる。
3. 値の横に] がある場合には、年別値を求める際に使用したデータ (月別値) に欠測等が含まれていることを示す。] 付きの値 (資料不足値) については、統計に用いる観測資料数が不足しているため、値の下に記載した統計月数を参考にして使用されたい。
なお、月別値がすべて欠測のため値が求められない場合は「×」とした。

5 順位更新表 2013年

※順位の変更はタイ記録も含んでいる。タイ記録は「=」で表す。

年平均気温高い方からの順位更新

順位	地点名	平均気温 ℃	平年差 ℃	これまでの最高 ℃ (西暦年)	開始年	平年値 ℃
2	東京	17.1	+0.8	17.3 (2004)	1875	16.3
	横浜	16.6 =	+0.8	16.9 (2004)	1896	15.8
	千葉	16.6 =	+0.9	16.8 (2004)	1966	15.7
3	釧路	7.1 =	+0.9	7.3 (2010)	1910	6.2
	浜松	16.9 =	+0.6	17.4 (2004)	1882	16.3
	静岡	17.2 =	+0.7	17.5 (2004)	1940	16.5
	三島	16.6 =	+0.7	16.9 (2004)	1930	15.9
	久米島	23.3 =	+0.4	24.2 (1998)	1958	22.9

年平均気温低い方からの順位更新

3位以内はなし

年降水量多い方からの順位更新

順位	地点名	降水量 mm	平年比 %	これまでの最大 mm (西暦年)	開始年	平年値 mm
1	新庄	2751.0	148	2413.1 (1958)	1957	1855.8
	酒田	2727.0	144	2549.0 (1937)	1937	1892.4
2	秋田	2373.0	141	2439.4 (1922)	1882	1686.2
	輪島	2907.5	138	3106.8 (1956)	1929	2100.4
	相川	2102.5	140	2109.3 (1961)	1911	1506.4
	金沢	3318.0	138	3476.2 (1917)	1882	2398.9
3	苫小牧	1590.0	133	1816.5 (1981)	1942	1197.9
	盛岡	1643.0	130	1702.0 (1990)	1923	1266.0
	新潟	2327.0	128	2397.0 (1998)	1886	1821.0
	伏木	2844.0	128	3231.0 (1985)	1883	2226.0

年降水量少ない方からの順位更新

順位	地点名	降水量 mm	平年比 %	これまでの最小 mm (西暦年)	開始年	平年値 mm
2	八丈島	2191.0	68	2080.6 (1926)	1906	3202.4
	種子島	1590.5	68	1585.0 (1981)	1948	2345.0

年間日照時間多い方からの順位更新

順位	地点名	日照時間 h	平年比 %	これまでの最大 h (西暦年)	開始年	平年値 h
1	諏訪	2357.2	111	2308.5 (2004)	1945	2119.8
	熊谷	2336.2	114	2314.2 (1940)	1899	2042.1
	甲府	2461.5	113	2401.9 (2004)	1900	2183.0
	秩父	2185.1	115	2133.1 (1994)	1926	1900.2
	鉾子	2243.4	114	2240.9 (1940)	1899	1959.9
	上野	2025.2	115	2000.2 (1942)	1938	1765.9
	伊良湖	2474.1	112	2446.1 (1994)	1947	2202.0
	尾鷲	2244.7	115	2184.7 (1995)	1938	1946.9
	館山	2174.0	112	2171.8 (2004)	1968	1936.0
	舞鶴	1784.9	116	1777.1 (1984)	1947	1538.8
	大阪	2299.5	115	2289.2 (1922)	1890	1996.4
	延岡	2381.8	112	2342.2 (1995)	1961	2125.2
	清水	2442.5	111	2418.4 (1995)	1941	2210.1
2	水戸	2259.0	118	2262.6 (1943)	1899	1921.7
	御前崎	2496.9	112	2532.4 (1940)	1933	2230.6
	横浜	2256.7	115	2268.2 (1940)	1905	1964.4
	大島	2004.0	111	2106.9 (1942)	1939	1804.9
	千葉	2135.3	112	2183.9 (2004)	1966	1903.7
	神戸	2255.4	113	2263.7 (1942)	1898	1995.1
	潮岬	2515.8	114	2537.5 (1942)	1913	2201.2
	宮崎	2410.5	114	2447.7 (1947)	1896	2116.1
	屋久島	1754.6	115	1754.7 (1994)	1938	1530.5
	宇和島	2157.4	111	2160.9 (2004)	1923	1940.9
	徳島	2326.8	111	2387.1 (1994)	1893	2092.9
宿毛	2347.3	112	2380.6 (1994)	1943	2098.9	
3	津	2365.5	115	2416.5 (1942)	1893	2065.6
	三宅島	1884.0	110	1925.1 (1986)	1942	1706.8
	四日市	2175.0	111	2269.4 (1994)	1966	1960.4
	彦根	2073.4	114	2092.4 (1978)	1895	1825.8
	奈良	2004.2	110	2128.4 (1978)	1953	1823.0
	高松	2288.1	111	2323.3 (1978)	1942	2053.9
	高知	2372.9	110	2398.2 (1947)	1895	2154.2

年間日照時間少ない方からの順位更新

3位以内はなし

(注) 値の横に] がある場合には、年別値を求める際に使用したデータ（月別値）に欠測等、統計に用いなかった値が含まれている（資料不足値）。順位は更新順位以上になることは確実であるが、統計値の使用に際しては気候表に記載した統計月数を参照されたい。
平年値とは1981～2010年の30年間の値を平均したものである。